桃山台3丁目自治会だより（2023年春号）

ご挨拶

４月から自治会役員が、新メンバーに交代となりました。
「安全に気持ちよく住める街　３丁目」となることを願いつつ
１年間担当業務を行ってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

ここ桃山台３丁目は、街びらきから半世紀が過ぎ、緑の多い落ち着いた住宅地になりました。
世代交代も進んでいるようで、桃山台小学校の児童数も増えています。この街が「ふるさと」になる子どもたちも増えていくことでしょう。

ただ、長く住んでいても地元のことは意外に分からないことが多いものです。そこで地域の皆様に、もっと自分の街を知っていただくきっかけになれば良いなという想いで、今号と次号（8月）では、さまざまな地域情報をわかりやすくお伝えします。ぜひ目を通していただいて地域のことを知っていただく機会になれば嬉しく思います。

2023年度桃山台3丁目　自治会役員一同

▲桃山台3丁目航空写真

▲ニュータウン開発前の航空写真

▲もものき橋下道路の今昔写真

＼3丁目育ちのサンちゃんが桃の妖精桃ちゃんに質問！／

桃山台3丁目のこと教えて！Q&A

ー桃山台地域の歴史編ー

あなたは3丁目のことをどのくらい知っていますか？
疑問がいっぱいの３丁目育ちのサンちゃんが、桃の妖精桃ちゃんに色々質問してみたよ！

Q 桃山台ってなぜ桃山台という名前なの？

A.実はこのあたり一帯が桃の名産地だったからだよ！

江戸末期から野生のモモが改良されていき、明治期には「千里のモモ」として大人気！食べるだけでなく花の季節になると、大阪市内から大勢の人が花見に来ていたんだって。だけど、大正の初めに害虫が大発生し壊滅しちゃったんだ。今は、近隣センター南にある「ものき公園」に名残りの「ハナモモ」が植樹されているのみで、残念ながら当時の面影はまったく残っていないんだよ。

Q 初めは「桃山台」ではなかったって本当？

A.「南桃源台」(みなみとうげんだい)になりかけていたよ。

この地域は桃の栽培地だったから、初めは「南桃源台」という名前で審議会にあげられたけれど、桃源郷の語源については、一部の知識人のみ知る言葉で、町名として好ましくないという結論が出て、再検討されたそう。反対者がいなければ、『南桃源台３丁目』になっていたんだね。あなたはどちらがよかったかな？

Q 開発される前はどんなところだったの？ まちびらきはいつなの？

A.木々に深くおおわれたなだらかな丘陵地帯で、村が点在。

千里丘陵は標高134mの島熊山が最高地点で、丘陵尾根に谷筋が深く刻まれている土地。明治22年に佐井寺村と片山村が合併して「千里村」ができたよ。「せんり」の誕生か、と思いきや、読み方は「ちさとむら」だったんだ。

A.昭和42年（1967年）5月に入居が始まったよ。

千里ニュータウンの建設計画は昭和32年に始まり、昭和33年に建設決定。昭和36年に起工式、翌昭和37年には佐竹台で第一回の入居が始まったから、本当に急ピッチで進んだ工事だったんだよ。

※参考資料 『千里の歴史と伝統（千里20年まつり実行委員会）』『千里の桃の話（朝日新聞千里販売）』等
※協力:千里ニュータウン情報館

次号は、桃山台３丁目の人口や構成など、データ面から「３丁目の今」をご紹介予定です。お楽しみに！